

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

社会福祉法人 波賀の里福祉会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	ハマ農業協同組合 波賀支所他		運転資金として			191,399,229
事業未収金			3月分介護報酬等			111,015,341
未収金		—		—	—	
未収補助金			神戸市 利子補助金等			7,441,374
貯蔵品			おむつ等			397,255
立替金			入所者病院診察代等			679,071
前払費用			火災保険料等			1,143,511
流動資産合計						312,075,781
2 固定資産						
(1)基本財産						
土地	(メープルホーム拠点)神戸市垂水区名谷町字大谷1900番2他	—	第1種社会福祉事業である 特別養護老人ホーム等に使用している	—	—	78,667,565
建物	(かえで園拠点)宍粟郡波賀町安賀450-2	1995年度	第1種社会福祉事業である 特別養護老人ホーム等に使用している	712,503,402	368,991,993	343,511,409
	(メープルホーム拠点)神戸市垂水区名谷町大谷1905-1	2007年度	第1種社会福祉事業である 特別養護老人ホーム等に使用している	996,940,000	424,218,637	572,721,363
小計						916,232,772
基本財産合計						994,900,337
(2)その他の固定資産						
土地	(メープルホーム拠点)神戸市垂水区名谷町字室山1400番182	—	第1種社会福祉事業である 特別養護老人ホーム等に使用している	—	—	6,996,000
小計						6,996,000
建物	(かえで園拠点)宍粟郡波賀町安賀450-2	2001年度	第1種社会福祉事業である 特別養護老人ホーム等に使用している	13,434,810	8,398,785	5,036,025
	(メープルホーム拠点)神戸市垂水区名谷町大谷1905-1	2007年度	第1種社会福祉事業である 特別養護老人ホーム等に使用している	22,744,995	22,417,331	327,664
小計						5,363,689
構築物	橋梁	—		32,600,000	7,435,516	25,164,484
機械装置	非常通報装置	—		600,000	599,999	1
車両運搬具	ハイエースバン他13台	—	利用者送迎用	32,771,506	30,607,146	2,164,360
器具及び備品	電動ベッド他	—	利用者用	124,693,802	103,434,191	21,259,611
有形リース資産		—				
権利	水道給水管分岐料	—		2,023,155	2,023,155	0
ソフトウェア	無形固定資産 PCソフト	—	請求業務用	13,873,318	12,333,816	1,539,502
退職給付引当資産	兵庫県社会福祉協議会	—	民間社会福祉事業職員退職共済制度			55,064,743
修繕積立資産	ハマ農業協同組合 波賀支所他	—	将来における修繕の目的のために 積み立てている定期預金	—	—	195,000,000
施設整備等積立資産	ハマ農業協同組合 波賀支所他	—	将来における施設整備等の目的の ために積み立てている定期預金	—	—	423,000,000
投資有価証券		—	JA出資金			300,000
預託金	自動車リサイクル料	—				156,370
その他固定資産合計						736,008,760
固定資産合計						1,730,909,097
資産合計						2,042,984,878

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分水道光熱費等	—		—	—	13,150,032
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構他	—		—	—	28,932,000
預り金	3月分源泉所得税等	—		—	—	5,615
職員預り金	社会保険料等	—		—	—	767,823
賞与引当金		—		—	—	26,832,000
流動負債合計						69,687,470
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構他	—		—	—	142,062,000
リース債務		—		—	—	
退職給付引当金	兵庫県社会福祉協議会	—		—	—	72,590,126
固定負債合計						214,652,126
負債合計						284,339,596
差引純財産						1,758,645,282

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。